政友関係の進展は興味を以て 見られるに至つたが、政府部内の床支、山崎、内田三関僚 の如きは切角政友の而目を立 てるべく政府の態度軟化を策 して居た努力が右高橋職相の

に努力する機様であるからこ に努力する機様であるからこ

同會さ

ずとの態度を堅持してゐる 兵力の實質的均等を承認せ のであり依然として日米間

元内外の收入が生れることとの 元内外の收入が生れることと 無限連絡開始による普通郵便 郵便連絡開始による普通郵便

「東京國通」後藤内相は各縣 りの豫定で目下勇退者の詮衡 を行つて居るが、部長級にも整理を 動は知事の異動後一両日のあ ととなる複線で、各府縣知事 ととなる複線で、各府縣知事 ととなる複線で、各府縣知事

船舶保險協

進まんとすると云ふ如きもするラインに副つて協定に

政友の面

目も幾分立

に決定した

が現在の骨盤計畫を基礎と れば米國は比率主義をあくれば米國は比率主義をあく

一、デヴィス代表の言として

してゐる

通郵による

の異動後

支那側收

年一千萬元

を生む

收拾

5

が、右に對し外務當局は左の大使より本省に報告があつた大使より本省に報告があつた

(イ)各國が平和維持の必要 を痛感し を痛感し の除去を實質的に考慮する以 の除去を實質的に考慮する以

部長級の

尚部長級勇退正式决定

ンで新聞記者に試みた會談内 ヴイス氏は去る八日ワシント

たものは

デヴィス米代表の談話に

रे

【東京國通】地方長官異動は 木下香川、白根兵庫縣知事は 十一日午後四時辭表を郵会し 縣大阪府知事は九時半官邸に 出頭辭表提出、千葉新潟縣知 でも辭表を出すに決してゐる でも辭表を出すに決してゐる ので市村鹿兒島縣知事の十二 日上京辭表提出を最後とし正 式决定を見る譯で、後義內相 は之で十五日の閣議までに大

我外務當局の日

見解

政友の妥協申入れ

又政友内部の山本

【東京國通】日本の有名なる

今回の

團と協定成る

高橋藏

相

船舶保険取扱會社全部を網羅 する船舶保険取扱會社全部を網羅 り先會社團との間に今後日本 の汽船會社が其の所有船舶を 保險に附せんとする場合、右 原院に附せんとする場合、右 の高級の間に今後日本

經濟委員會

~滿洲國

3

令議會への提出は絕對避く

(B

原政友の異意を汲み通常觀會 しては爆弾動議に妥協的申入れがあ しては爆弾動議と提出せる以 上面目を保たねばならぬ、政 上面目を保たねばならぬ、政

に三千萬程度の追加豫草を提出 が高橋蔵相は必要ならば豫備 が高橋蔵相は必要ならば豫備 は之を避けると申入れを拒絶

日午後二時から本部で初幹部會に幹部會の決議を以て改め、特別の表別の表別では、一個の表別では、一個の表別では、一個の表別である。

れることと

英國側當業者は再保險に於て 和日本側當業者は元受に依り

満鐵改組案も研究に着手

林陸相滿

次、

崎 內

田三相

條 太郎

氏)

米國

眞意

二十月

A

3

警豫算追加の可否を決定することは尚早となし教濟對策山崎開相等は閣議席上では何等異論を述べなかつたが災友の爆弾動職に對する政府の方針は明瞭となつたが床次 は其後の調査で必要額を追加計上し之を讀會に提出す る高橋職相の態度で政 閣內不統

山本條太郎氏と十脈通ずる酬田育相が如何なる態度をとを惹起の虞れあり前途憂慮される。此の正面衝突に對し示し、このまゝで鞿會に臨めば豫算審讖中に閣内不統一は政府として當然なりとし、高橋蔵相と正反對の見解を

ひ 芸機總裁辭任の經緯、自 分の總務會長就任事情等に つき懇談したが今後自分の 原何等話さなかつたので 山本男よりも別にやれとか やるなとかの話はなかつた 唯山本男が往年政友本黨總

腦別原源 奉天·新京 焼として政黨の總裁たらんとするものは時あれば一國を背負つて立つ抱負と經綸 を背負つで立つ抱負と經綸 を背負って立つ抱負と經綸 相談では今度山本男を尋ね 相談するやらになるかも知

限民政部相

十分拓相官邸に見玉拓相を訪け、東京國通」減民政部大臣は 新京鐵事でも 北鐵買收交渉も順調に運ばれ 来月末までには満り兩酸間に おいて假調印の運ひになる如 く一般に報導されてゐるが新 京鐵道事務所においても本部 とり入事、旅客輸渋その他に

拜謁を賜ふ

宮殿下に弄講を賜つた宮殿下に弄講を賜つた 合北鐵 準備打

む

を必要とするか諒解に苦し を必要とするか諒解に苦し を必要とするか諒解に苦し

最後の切れ

《捕獵 大附壳丈能》

正十二時

より

連續上映仕候

=

日

四日間

女八人感激時代

地方官異動計畫は

一、他方大なる軍備は國民負擔の過重である、此際各國 協の過重である、此際各國 は日本の所謂不脅威、不侵 略方針に依る新軍縮方式達 成の爲實同すべき事が世界 平和維持の根本方針より期

V)

ある人生=

夏川 静江作

HH

3

舞

會

階

CED

たしは、子供のためでしたら、 どんなことをしてやつてもいる

でも、あ一云つた。すると櫻井夫人が、一

でも

すわ。あたくしどもの御亭主

一般化を来すものである、又 が變するが如き事ありとせ が變するが如き事ありとせ がったしてもその要領に でするが如き事ありとせ 質女はやつばり良妻賢世主義で あら、あら、まあ。 大蔵な母 既はめつもりで居りますわり時と場合によつては、死をも、 云った。 あら、まあ。大概な母に、木をよませたがるには閉

の数弦とか何とか云つて、価電

さんときたら、そりやあ、うる

パの大最界世 け聞・品作演主の き醜なみ夢を道士騎きけ華 !電名的製器をこぼに界世

豫定通り進捗

- 五日までに完了

中かれる人が、 らばふと 皮肉に笑ひなが がになると、出艦目に、扱いう がになると、出艦目に、扱いう を しますわ。それも ヘイソフレ部 類について)だの(世界經濟會

てし擁を富の萬千幾がカリコーを表している。

では、 でしたら、 でしたら、 を表でしたら、 を表してもい にと思ひますが、 良いままが、 のでもい でしたら、 を表してもい お線性 インフレ最低の意味が分ったかべージ酸んで、どうしたかの、 してるんですけど、今日は、

一ちゃ、世郷さまは、 あんなひと。 との頃ぢけられるんで、 のつて難しい議論ばかり吹つ

すつかりまるつ

通央中 え北区電



ゲエ、ベエ、ボール、エ

は書映術藝い白面ため極を華豪る斯旦尚原のエシッカルアフス ラン氏 の名著作

「ゲエ、ベエ、パプスト氏フョードル、シャリアビン氏フョードル、シャリアビン氏・一葉早智士、薬原签は、吉谷人雄、中根・一葉早智士、薬原签は、吉谷人雄、中根・一葉中間、藤太郎、古川森波、福川夢思、大趾史郎 龍太郎、古川森波、福川夢思、大趾史郎 間 いん 生

滿鐵雕俱樂部兒童 の世界だ!! おは、宇宙の甘美を染めた高雅な花束だれ、 では、宇宙の甘美を染めた高雅な花束だれ、 では、宇宙の甘美を染めた高雅な花束だれ、 では、宇宙の甘美を染めた高雅な花束だれ、 では、 舞踊團

記 満満鐵鐵 念 社社 會 樂業部部

會

發聲漫畵

錢十五太

錢十三學軍

お小夜と二言

錢

大野南阿貿易の現狀打開が一本の出超に依り片貿易を

は十一日午後外務省に東西通過商振興使節として東亞市場開新調査報告の使命を帶ひ舊開新調査報告の使命を帶ひ舊

南阿通商使節

飽くまで固辭

は

片貿易調整に關し

來栖局長ご懇談 其貿易調整に努力して居る

しても日本の買付を要求し
方羊毛以外の南阿物産に對

要望した、ブレナン氏は崩領 の度方面を観察旅行の上本國

に受誦する譯に行っては總裁の器でな 日午後三時四十五分山本澤男



最後すざなりとすや三月振りでお目にか

のであるかは彼者全部が帰傷した事件が如何に出鱈目なもし右事件が如何に出鱈目なも



山本男も遂に同意 したが町田商相の固辭で已む とし同意し

とは當り前の事である、 ふのではなく、

て當然の話であつて、特に機械相の話は財政當局とし 去る八日の閣議に於ける高 陸軍とし H

は外務省に案が出來で居る は外務省に案が出來で居る が近く滿洲國と交渉した上 案を對滿事務局に移し事務 局の仕事になつて來ると思 つて居る、滿鐵改組問題は 位解決されて居ないので改 組は必要と認められるから を始める事になつて居野滿事務局で改組案の

三十氏自身が 日支記者幽との

帝

にある、蓋し帝國陸軍 にある、蓋し帝國陸軍 にある、蓋し帝國陸軍 映話の形式で左の如いて今後北支に對す あるは必然である、

或ひは質問するか

権蹂躪が行はれたかな想像出 してあるのは注目される は前代未聞でその間如何に人 質問してもよいとの意向を示終結前供述を飜べした事によ 来るとして場合に依つては政 傾極的進展

高橋駐在武官語 環境と中國側の り誠心誠意北 -態度如何に 3

意三三つつか

接頭夫人も

◆今井中將(参謀本部)十二 日午後二時着内地から名古 屋ホテル投宿 屋ホテル投宿 一日午後等時級大連へ 一日午後五時 族院議員)十一日午後五時 族院議員)十一日午後五時 一日午後五時 一日午後五時 大るは慶賀に堪えない文第 たるは慶賀に堪えない文第 であるが、支那紙の報道に 使れば減洲國の新地名が記 がしある郵便物は中國側で 支諸問題の積極的進展に寄中の事項が多いが今後日支中の事項が多いが今後日支 類の福利便益を聞らんとす野協定の精神に照らし且人 である、要するに余は着任たいと思ふのは即ちこの例 したばかりで未だ調査研究 置さるるが如き事が若し賃 本人及び補洲國人の發送し 努力する考へだ あるが荷くも日 輸組加盟店 で野獣人じみてゐて、あんな人。 女だつて、あんな人際山るませんがだつて、あんな人際山るとに気をつけてるて、一個後と たし、物めから死んだつもりで 「えゝ、表面的には、あるひは うに云つた。 文 つてありませんわり 一緒になったんですから……」 「まあ! 「ちゃる、細點、受職時代です そりや、 友喜失人も、 友喜夫人も、 酸心したや でも、助分おむつまじ あ」お見えになって 家と外とは別人 たりがいたのだった。 放き大人を乗せいたのだった。 放き大人を乗せいたのだった。 放き大人を乗せいたのだった。 放き大人を乗せいたのだった。 の乗つてるたことを、夫人は、 自動車には、島人の友喜 告氏 のだつた。向ふへ近り去つた てるますの」 やくもので 乗って [refi] 砂・下の膨ん、放棄信音は、

すの朝門るの

つた男の血を啜り肉を啖つてあたし鑵であの冷酷な原主だ

具合好き日以外は特別の関地をも差控への

は居りまでは居りま

浮ば 生

牧場主ご雇人が

給金不拂ひから大悶着

にれがいけなかつたのですね 戦首仲間が頭をそろへて堂々 乗り込んだものです、押間答 の末百圓の小切手、数人の頭 へ百圓ちやどう算盤を弾いて が、押迫つた年の暮、春にで もなつて、又一談判と引揚げ たやうに警官がちよつと楽い

人間に牛乳をこしらへろとい よめでさて、それが出来ない 出来なけりや出て行け、出 はできますとも、と費言葉に で行きますとも、と要言葉に はない。

てくれない、蒸しかへして行くと食つてもくれない、金が 貫へないと乾干になる、今度 あへなかつたら置手紙を残し てと一筆書いて置いて來たの が脅場といふことになつちや を併設し目下主治腦入澤博士 伯氏は宿痾の神經痛に腎臓炎 自邸で、専ら靜養に

病む趙欣伯氏 宿痾の神經痛に腎臓炎併發

なを入れて量を強やしまっ がを入れて量を強やしまっ 情をしてることを世間に吹聽 するからと書いといたんです とになつちゃつたんです となったのでした に行つたまで、次しいことが に行つたまで、次しいことが 無いと信じてゐるので警察で もどこへでもと大威張りでつ いて行つたのでしたが、結果 はルンペンが夜陰大撃して元 の展主を脅喝したといふこと

熙治夫人

學行するに決定した

航空 室 定期

には一切の設備を完成し試験の飛鞴的競機を齎す内地臺灣の飛鞴的競機を齎す内地臺灣から設備に潜争し、今年秋中から設備に潜争し、今年秋中が設備に対し、今年秋中が設備に対し、 立ての徳を永久に讚ふることになり目下積極的に準備中で

ごうぞ御用心!

虎の子を奪はれ

た満人男

牛乳良

八難なく捕る

左の宣言を發表した

京

三宅牧場

新京ホトトギス

新年句會

大業成り施政領に暢達し、大業成り施政領に帰制資施、行政改革の統に帝制資施、行政改革の

新京驛扱ひの

異し王道の作踐を主 端外里に滿洲建國精

社外貨物輸送狀况並に品種別新京驛に於ける十二月下旬の を示せば左の如くである

添れ共刻下の國際的

貨物輸送

りさん

のと傳へられて居る 中旬までには武昌に乗出す 昌司令部の設備完了次第二月

乳牛全部健康證明付

一月より

行機會社が輸入したドグラス 使用機に就ではさきに中島飛 ・ して燃々正式に定期航空を開 ・ である。 ・ ではないではないではが、 ・ これが ・ である。 ・ でる。 諸將星ら Re版を買くといふまさに は午後四時には臺北に到 に中での時には臺北に到 燃料の補給を行ふ けふ續 田奈地方事務所長より補録 出入記者團に對し十二日左の 通り挨拶電があつた 今回費地方事務所長を命ぜ られ十六日アジアにて赴任 のれ十六日アジアにて赴任 翻期的の航空時代を實現する

ることになつ

へれた粹な色

ム色で

灰は

官は十二日午後八時殿列車で滯京中の濱田旅順要池部司令 今夜八時離京 サレム商捌に從事して居たア | 件等五回目の發捌を完成すべ的權威で過去九年間聖地エル | ト博士は家族並ひに同志同は横濱國通】舊約聖書の世界 ウイリアムフレデリック、ビー | リリカ、カリフオルニャ州の の發掘に 渡歐するピ博士

武田新所長 満鐵記者團に 包記

て一般市民各位にも宜しく 映畵ご舞踊

新京社員俱樂部主催の映畵と 新京社員俱樂部主催の映畵と なつた、 プログラムは新春劈 室で査夜二回に亘つ

1、日曜単二 てゐる

「若し御 窓ならば」 於階下室 は 大の主演作品 本の主演作品 大の大策を検 品であるためファ にい、シャリア =

督新京教會 午前九時年

11出出 10九日四〇個

けふの銀相場

なほ一般の紫磡を歓迎する

は今後事ら新京駐在同公司の は今後事ら新京駐在同公司の

音藤氏駐在 所仲買人 編業公司の 株式會社

選手權大會

【奉天國通】満鮮スケート選 ・職大會兼全日本選手權大會 が一日脚に亘り奉天國際グランドリンクに於て華々しく である事となつた

●品質優良●

專門福

記

司

電話六七九四番

新京朝日通八一

産婦人科の

三五年は蘇よ流線

ピードモンスタ

吉川組倉庫焼く

千圓)は十二月廿五日午後二 川組出張所西隣倉庫に格納されてゐた石油二百箱(價格三れてゐた石油二百箱(價格三 時頃突如酸火全燒した原因は 頗ぶる好評 銀馬

外交員募集

開業披露の

爲

▼特別割

引

-

清寫眞館

店支

電話四六九省

大馬路四九番電大馬路四九番電 して外交に經驗を有し優秀の方側市内に確實なる保證人を要す希望者は本人柳水

松田

話四七六八書

晝夜撮影

電元日 語音本 五生機

五省剿匪に

電市近郊のラッションのでは、

らか月四 -ユヴデに地内....

總司令部

十一時フーヴァ號で日本に立く同地へ赴くため十一日午前

貸間アリ 解

電話五五八七番へ電話五五八七番へ電話五五八七番へ衛用ノ方へ音野町五丁目愛國旅館跨解院場所設備完置六十五署

...

時期程

午前、午後、夜間、三部授栗 各 三 ケ 月 修 丁

元 店 員 井 上 幸 夫 元 店 員 井 上 幸 夫 元 店 員 井 上 幸 夫

右者今較都合。依り退店仕候。就テハ今後幣店トへ見 闘係無之候間此段廣告候也 昭和十年)月十日 野京八島通り四〇番地 塚 善 ハ何等ノ

傭 廣 支 店

谷

茂

3

孝 詳細本所ニ照會サレタシ 語短期講習

拓殖大學經營辦講習所

女給さん募集

手不足に付き四五名至急人用御希望の方は左把へ 電話六九五〇番

御會葬御禮 同

付隣後常店トハー何關係無之候間比段腰告化候付隣後常店トハー何關係無之候間比段腰告化候 大路 三三一號

位

度 0 御 試 食 加 乞

酒は自慢の菊正 新鮮な材料: 度!今 席久い並う場 0 ・ 強に季節ーの御宴會は是世の御宴會は是世人の祭 並に季 食道樂 品茶 理渍理

日

組合會

在奉各同業

支那海軍から

軍艦の注文

四日內地凱旋

消組方策で

1具体的にす>

宮内省の準備

でなぜ拵へないのかと怒鳴りました、私達もくれるものはくれず、文句ばかり云ひやがると云ふ腹があるもんですかると云ふ腹があるもんですかると云ふ腹があるもんですから、旦那そりや無理だ、いくら神つたつて出れへ乳は出まするどカンカンに怒つた主人はようし、俺ンとこぢや乳のはなうし、俺ンとこぢや乳のです。

「東京國通」 満州國皇帝の御來朝正式御通知以來宮内省では愈々具体的に知る は翌日晴れの御参内公式御訪問あらせられるが、天皇陛下には其當日及御職は翌日晴れの御参内公式御訪問あらせられるが、天皇陛下には其當日及御職は翌日時代の一月中には宮内省、外務、韓海軍、磯道、拓麻等關係方面から接任の際の二度に亘つて滅州國皇帝の御來朝正式御通知以來宮内省では愈々具体的に知る と洩れ承はる

速塵線新感長は午後等時半官

天地方聯合會協議智は十一日

宣言を發表

康德皇帝御渡

後六回殿闘部殿と聯合旗智を職は六月四日より廿八日迄前

聯合演習

に訪へば執事が代つて 博士には昨今の寒さの爲め 病情思はしくありません、 暖かくした室で靜かに讀書 などして居られますが、こ れからどうしやう等と云ふ 様な考へは勿論なく只恢復 の日を樂みにして居られる だけです

であたし達枕をなら

在滿朝鮮農民

0

出業熱が圧盛

加

活保證を得る様になり大いに 活保證を得る様になり大いに

ギャングの

シア少年

後 に捕はる で働き露西亜暦のクリスマス た家庭が生む悲劇…本年僅か 十九歳の富人少年レュバノフ は二十四歳の情婦を持ちギャングの頭領として敷々の悪事

けふ遺骨着く 十三日は太子堂でお通夜

を連れ鵜糸駐宅十六號に連れるるから一寸来てくれと二人を連れといことが

通り投け城内に行く途中鍛造 たが1ドにさしか1つた際突然 屋 込み五名の滿人男が賭博をや たいと言ひ返すと五名の男は 二人を捕べ身体検査をなし懐 中にしてるた虎の子、現金十 五圓を総トげ裏口から逃走し たので驚いた二人は直に新京 層に届出た、同暑では届出と 信時に前記減錠記宅を襲ひ住 東明二二五)同城内西五馬路居 住機設(三〇)同社職釣(二 住楊酸(三〇)同社の

本資保 美、全二其他豆類 ▲ 品種別

滿洲國協和會第一回 會第一回奉天地

平天地方聯合協議會 地灣線 无, 九八高 梁 个, 五〇 北灣線 元, 五二 平蜀黍 三, 120 北灣線 元, 五二 平蜀黍 三, 120 北灣線 元, 5八 數 1, 120 次 110 次 1

新京に生るべくして生れずに めた俳句會が生れた、ホトト ギス系俳響の巨人山口響子氏 自が作られて、その設會及新 を新京在住のホトトギス気俳 を新京在住のホトトギス気俳 を新京在住のホトトギス気俳 を新京在住のホトトギス気 によつて新京ホトトギス気 を が作られて、その設會及新 た、独同句曹は毎週末曜日に た、独同句曹は毎週末曜日に た、独同句曹は毎週末曜日に た、独同句曹は毎週末曜日に たで同野の二の都 で同野の土の参會を希望 してゐる、参加希望の方々は

脳馬啼きぬ枯柳林どこま

||四

敦海線の

夕拜

午後十時

於階下蜜

自動車運行

昨年四月以来運行休止中であった教権線へ教化、安享間)のた教権線へ教化、安享間)・自動車は鏡泊湖が凍結したので十二日から毎日午前七時三十分兩端から設東當日午後三十分一方である。

大きなない。 -

株式店員拾名募集

希望の方は履歴書持多至急來談のこと年齢卅歳前後市内一ケ年以上在住の方 ●但し保証人を要す● 福奉 公

司

電話六十八五番(室町小學校績)



第三回 第三回 三頭弗 《分 第三回 三頭弗 《公 本日衛 次之 公 本日衛 大連金 沙 票 11年12日 日 11年1

- E

金二 鈔二 出票月 出五出四高出五出四出一大 小 來對十來對十 來月來月 來月來月來月 高鈔三高闕三團高限高級三層。 聯日 聯日 即

르

電話五八二九番

四、元、九 四、元、九 四、元、九 四、元 九 四、元 九 四、元 本 四、二 車

します。

ま

時

豆

大萬七千圓

古野三丁里市場西門西人大天が大天が大天が大天が大天が大大天が

"錢 先

祭 114110 1141量

外交部遜商司の調査によると 中華民國第二回産棉養利高ば一千 百十七萬二千五百五十三 擔で 第一回の発想より六十七萬四 千六百二十九擔の増加となつ

紐育向

一志群二分二 一志群二分二 一志群二分二

大連

日で永本沼管祭みを屋町41

1月にダイナギン 総合教授

(編纂鑑) 急性。複雑袱前・膀胱炎・尿道炎・消渇等するも胃腸釋落又は腎臓刺戟を起さす

-

徒募集

話六三四七番

医

设合

座

連上海向10公司10公司10公司10公司10公司10公司

新京射越

中屋

新家附看新京政添護京

一、麻袋市况 期待されたる特産物の出廻課期に反し例年に比して減少せる賃麻袋の先行歩々しからざるに他方期限到來に約定荷はるに他方期限到來に約定荷は

銀筋 喜商 三望 乳気 日中和場左の如しく一枚に付ったり弱保合に越月したり

想以上の好評を博し賣上も良 所であつたとのことである。 時間行商隊は引續き二十日より がンペイに於て見本市を開き ボンペイに於て見本市を開き

内譯 紙幣 一卷·七卷·七卷·卷

電氣光

城內東四馬路廿八公益旅舍

九三、二五八、三六五、七九 九三、二五八、三六五、七九

物療學士

宝郎五五五〇四番 電部二丁目二八 電部二十日二八 での一十日二八

月丁十七

あんま

高橋旅院

荷動き依然として歩々しから前月末に引續き實需方面への

連特

産 長宝

物九車

看量大大 新新新株大阪株式 大阪株式 11次20

一月中に於け

3

棉 条 系

久記記券 本夫取引所仲寅人 港州取引所仲寅人 記述券 部 文名

満語 經濟市况放送 (大連國通)電へ會社では近く大連放送局より滿洲語による經濟市況を奉天、新京、ハルビン各放送局を中心に全滿ルビと満に放送すべく計畫し満人アナル放送すべく計量し満人アナルが送すべく計量し満人アナ

純

高價買人

店質屋濱橫

ヤキ

モチ讀

本

高四七七四番

る筈である

新三家

求職は

す

金融經濟概况

多少に不均御用便で 電話」この八五番 電話」この八五番 地田工番地

膨脹の一途を辿つてゐる 膨脹の一途を辿つてゐる

日新聞助警事業場託 日新聞助警事業場 1 8 スジ

関

銀週報

朝鮮銀行新京支店

安東税闘 (安東 債券利廻りは前月より二毛 横りは目覺しく接收前は年額 ある

べては騰勢

低落は魚類と肉類の

粉京卸賣物價 月中

砂糖市况

料定金即回回金姓一前名價金金金金在五八三五社十十十十一个總統領法

新,

看

板

は

金圓兩建さも騰貴情勢

満洲事

變による

支拂保險金

場左の如しへ一三五斤

語二〇八六八へ 地話致します 単話大四三五番

に対うしたり に対うしたり に対うしたり に対うしたり がに扱うにかく一方不作の整高 を為農民の購買力極度に被退 がに振はず相場亦新糖安を入 がに振はず相場亦新糖安を入 がに振はず相場亦新糖安を入

約五百萬圓を突破するも 関九千三百十四圓、康慶元年 度は十二月末日現在の七中期 のみで八百五十萬七千七百三 十九圓に達し、年度末には優 十九圓に達し、年度末には優

は満洲事變による各生命保險 會社の支拂保險金にして昨年 十二月までに判明せる分は合 計九十萬六千五百十一圓六十

入、四の夫々著鱂を演じ實に 急輸月比五、五、前年同月比 敷物類を中心とする騰勢頗る 学校であり、一方金川競も同常の開査による昨年十二月中級の調査による昨年十二月で示して金品目五十品中三十を示して金品目五十品中三十を示して金品目五十品中三十を示して金品目五十品中三十を示して金品目五十品中三十を示して金品目五十品中三十を示して金品目五十品中三十を示して、四で前月より四、九ので前月より四、九ので前月より四、九ので前月より四、九のでは、100円には、1 類を除き齊しく上騰趨勢にあいて、
現に見れば紡織品及金物の二別に見れば紡織品及金物の二別に見れば紡織品及金物の二

(金圓建)前月反落一轉の後再ひ强關を呈し前月比四、 九前年度同月比一二、六の夫 々昻騰を示現、全品目五十品 中騰貴二十品、低落二十四品 保合六品、之を類別に見れば 全く國幣建と同様の形勢にあ

根定調査したところによれば を記載をしたところによれば を記載をしたところによれば を記載を物語つて居る、新 を記載ところによれば を記載を物語つて居る、新 を正場課始つて以来の競職状 りである、又これ等各工場に りである、又これ等各工場に りである、又これ等各工場に というである、の質銀は一萬 一百月で此の記録は警視 を記載する数工中臨時工が四萬 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである、日質銀は別 というである。日質銀は別 というである。日質ない。日間は というである。日質ない。日間は というである。日間は というである。 というである。 というである。 というである。 というである。 といるである。 といるできな といるでな といるでな といるでな といるでな といる といる といる といる といる といる といる **本稀れな活氣振**

工平均百圓から五二三十圓を 言ふ素晴らしい景氣でまだま だ身る勢ひである 日に至るや満州國改正關稅率となりたるもの多く為に之等の約定品を多数擁せる問屋方の約定品を多数擁せる問屋方の約定品を多数擁せる問屋方の約定品を多数擁せる問屋方の約定品を多数擁せる問屋方の配迫實需不振と相俟つて相場漸落を辿り市况益々惡心裡に越月せり皆月中に於ける主なる相場を見れば左の如して

ル九百七十七萬四千二百七擔 千三百四十六擔の増加を強想 されてゐる、この大きな原因 は棉田面積の激増によるもの で若し支那の治安が確保され が必要されたならば將來

〇二、九燈火燃料一〇〇、四野品一〇四、二衣料及鞋類一天他食料品一〇七、五調味嗜

脚度各地で頗る好評を博 機械類行商隊一行

前月來環境不眛に商內不振を前月來環境不眛に商內不振を全呈し現物は引張だこの盛况を呈し現物は引張だこの盛况を示したり、一方先物も亦糧相場奔騰したり課稅發表後實に二千車の多きに上りたりとと、

を本建築終末期に入り荷護一段落を告げ、月央十四日改正 ・ 一般素あるや多少の見越輸入を ・ 一般表あるや多少の見越輸入を ・ 一般である。 ・ 一般である。 ・ 一般である。 ・ 一般である。 ・ 一般である。 ・ 一般である。 ・ である。 ・ でる。 市况

電四九六七番 電四九六七番 電四九六七番

新京· 新京·

電話長四八二八番 地建物會社 を解り通十七 に紹介、公認 والموال والموال 驛京新

十二日より公開

「本では、本ののでは、一十二日より公開

「本では、一十二日より公開 關八

伊

特別廣告 **均量八倍 (過級)** 万洋曼和 A R

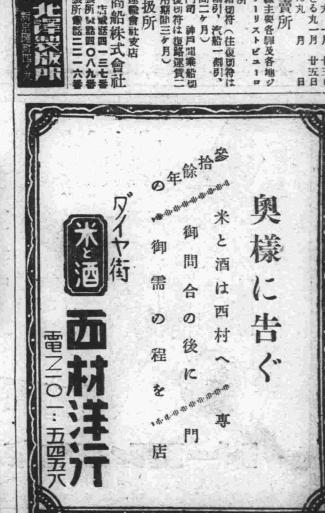
O 版版

大学と茶道具の 御用命は吉野町一丁目 のどり茶園へ 京本本本 手術每日 人科外科 森京入舟町四二 電話五三三番

软 性 表 法 法 法

專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店 大運支店號器四一三七番 來天出場所以點四〇八九番 本文通支店號器四一三七番 本文通文店號器四一三七番

用期間三ヶ月) 関切符は復略運賃二 間二ヶ月) 間二ヶ月)



かれた。女故に起 松竹年一度の吉例下加茂額合 俠 客 ズ最初の 曾 主 演 我 オ大 陸軍藥局方收載 合藥製才木 元實發造製 自丁二號戶亞莫爾木丹市京東 者七一三器木甘藍電

まより

一大冲杉狂兒、 木禮二、 二、近松星子、黒木記代、星ひかる、大星のかる、大星のかる、大星のかる、大星のかる、大星の大星子

町士富 乙町士富七八六話電

多

江川宇禮雄岡譲二逢初夢子原作里見淳の大傑作

の學大十十
那旦若五二 日日

年 新

電 置 丁三町川品南京東本日大

配 市

配

通橋本日京新

日満聯絡は困難だ

關東軍某將校談

航空船に依る

北鐵ソ聯當局

聯盟理事會

頁八共刊夕紙本

劉婆 定本

全治 質疑

行用居 行用居

が対対

材甲板

吉川商會

20 年 5 人 本 大 瀬 東 1 日 新 2 日 新 2 日 新 2 日 新 3 日 1 1 日 1 日

滿鐵改組、研究 着手
ピし

然だとして居るので
對滿事務局では今後着々研究を進め現地の關係方面 も從來滿洲經濟政治機構の變革に依り組織改革あるは當 【東京國通】對滿事務局第一の着手として滿蟻改組が檢討されるが 林満鐵總裁

幹事長以下の各役員を詮衡

へ ないもの相當あり之等の内に として白来露人會に入會を希
発し絕對に本國に觸還せずと
標してゐる模様でリ聯當局に
於ては右對策として轉籍不能
の所以を説明すると共に本國
の所以を説明すると共に本國
の所以を記明すると共に本國
の所以を記述を
の所以を
の所述を
の所述を

酸國通」現狀維持派の指導

日人民投票委員會に對し恐る者マックスブラウン氏は十一

投票の延期

物を要請した

大将のもとにあつて犬馬の 野をとるのみだ

民投票

処期を

横行を

期訴願は却下か

が右デモは禁止され有権者群 でもを決行する計畫であつた でもを決行する計畫であつた

直ちに宿舎

業務成績

警察を許可さ

長岡總長着城

八十八行昭和九年十一月末の 茶務内容は左の如くである 養本金 三三三三六〇 で排込費) 11、13、13、100 で加入、一一現在) (昭八、一一現在)

三月に繰上げたと 単校の如き卒業期を七月より 単校の如き卒業期を七月より 協和會奉天

聯合協議會 第二日の盛况

質問擔當者

の中から適

行ひ最後に「速急に解决を要ついて隔意なき意見の交換をのいて隔意なき意見の交換を題情勢の報告

王寵惠氏の對西南合作問孫科氏の河北情勢報告

孫科氏邸に行はれた、會議内 王寵惠氏等互頭の時局對策協 王龍惠氏等互頭の時局對策協

るが如き場合も養想し得るの 會解散と云ふ最後手段に訴へ 育解散と云ふ最後手段に訴へ 動談會策に關しては爆彈動職 対は関いがある等であるが を求め同日歸京の豫定である。

時局對策協議

吉、青木亮賞、中山稲萩、武の質疑者は櫻内幸雄、齋味隆夫、川崎克・松村謙三・豊田豐夫、川崎克・松村謙三・豊田豐

本會議質疑者 民政黨の分

1 (※天屋通) 當地人電に依れば唐山開慶鑛務局及啓新生、公司の舊工會委員等、中心人、

脱祭區域に加へら

は日本、支那並識會は近く極東

補洲國も視察せん

米通商視察團

派遣

依然活况界は依然

三、前二項何れる領面不可能の総合は胡漢民氏が一時外 準備を急いでゐる

なる経問題を

霜毒なた水靴火打切 力

す 燒虫づし虫れ傷傷傷 の節経 痛痛リ炎痛

ヘー字入れて有名家庭薬の名に

現地關係各方面ごも折衝

民政長老會議開催 心裁問題協議

た見るべく薫總務には賴母木 は永井柳太郎氏を光る模様で

聯人にして本國醫還を希望し 工事其他の事業を極度に手控達博士の死を悼む 尚北錣り聯幹部は同鐵道護波

劈頭安達博士の死を悼む

對議會の腹案成り 首相園公訪問 全面的諒解を求める

間点 動力 告以後に於る各國の情勢を始 動力 告以後に於る各國の情勢を始 動力 告以後に於る各國の情勢を始 動する政府の方針並に最近の 動策、人権蹂躪問題を始め各種問題に 外交經過殊に華府條約廢棄通

をの操縦極めて離しく飛行 をの操縦極めて離しく飛行 をでして南米との職絡飛行を をでして南米との職絡飛行を をでして南米との職絡飛行を をつて居るがこれはドイツ をの飛行船を使用し長い きな危險を伴ふものである。 ても莫大な經費と時日と綴さな終めと訓練をつむにし 性が要るだらう、航空船

カル 大平洋職送會社の設立を計量 大平洋職送會社の設立を計量 ・飛行船による空輸事業が目 ・飛行船による空輸事業が目

であるが右に闘し関東軍某将 であるが右に闘し関東軍某将

若し ※永い年月と大 次永い年月と大

有力であるが、同會社の計量する南洋と本土とを結び

て、太平洋航空會社の航空航空會社事業の現狀より見

では到底現地に関した善敵を有力資料のない精洲機の現状

三百キロ以上を出すから立よい、最新式飛行機を使用すれば最新式飛行機を使用すれば 事が出來る

以上の如く軍事経濟

を励つ にあた を聞いてその知遇に感じ再 を聞いてその知遇に感じ再 を聞いてその知遇に感じ再 を聞いてその知遇に感じ再 を聞いてその知遇に感じ再 なも最後の御奉公の積りで などの答な考へは毛頭ない

細に は嚴重を極めドイッ職線黨が乗通 の訴願は却下されるものと觀要通 の訴願は却下されるものと觀要通 の訴願は却下されるものと觀 しては國際警備軍の警備によ が顕するに至つたが委員會と が顕するに至つたが委員會と が顕するに至つたが委員會と が顕するに至つたが委員會と は豫定の通り十二日午後三時 世分入城した、常面の諮問題 については白紙だと語るを避 については白紙だと語るを避 については白紙だと語るを避 を最後に世余年の御奉公を をめ官途に就かぬと離明し 二、三交渉もあつたがこれ かたき决意を語る

の抱負も方針も無い、たら即ち長職の抱負は南大將の抱負

會方針殊に政友會の爆彈動識

定に先手な が人民投票 が人民投票

ハラチナ ル合体の場合 獨政府聲明を發表

セフピッケ 領域は全く ログラチナ

満洲國派 回國

が費用を開発を

は はつきりして ある ▼それにしても床文、山崎、内田の三閣僚がこの時幾分でも数友の額を立て双方圓滿に事をといふのは政友側に取ったといふのは政友側に取る。 能にあり現在既に鉄鐵飢饉の 態にあり現在既に鉄鐵飢饉の 一瓦につき國幣三調三角五分財政部は本日産金買上價格を 產金買上價格 三圓三角五分 1

サシネゲマ 関ル数ス-ア 所薬製村木 元造 製 配合式株 社會名合置玉 版大 店理代線 社會式林產物井三 店理代外海 品

運賃割引

奉吉線で延長

頑迷なる政府の使嗾から 被害の邦人が

續出

て上二十一日設國通」一時鳴 を潜めたかに見られた支那側 の排日運動は國民黨部及ひ國 以來南京其他地方都市に於て 以來南京其他地方都市に於て 以來南京其他地方都市に於て 以來南京其他地方都市に於て

四川へ進撃す 毛兩共產軍 中央軍四川を死守

(南京十一日愛國通) 昨秋江 西の赤區を捨てて西進を開始 た二班に分れ毛澤東の共産軍主 貴州省に深く侵入し、首都貴 協に程近き貴定を陷れたが俄 関に程近き貴定を陷れたが俄

照筒山 同 同 一圓九十 一銭四厘五 半 石 同 同 三十銭四 厘五 をとなつた、因に大連向の場合之を新京經由の運賃と比較すれば左の如く何れも率音線 前 15mm | 15mm 工、八五四五三、八五四五三、九三九五 四、六四五四五 四、六四五五四五 四、六四五五四五

愈々事将開始

一會

【吉林國通】過般來設立準備中であつた吉林の朝鮮人間工中であつた吉林の朝鮮人間工館は愈よ一屆日中に事務を開始し吉林に於ける日滿鮮商工業者の連絡及ひ親體を圖ることになつた、會長は催性奥氏である 濱江省治安維

り借行趾にて開催され治安間以來最初の第一回賓江地區治以來最初の第一回賓江地區治以來最初の第一回賓江地區治

北鐵の譲渡に對し 軍畧上大反對

一級を満洲國に賣却することは 出來得る限り短時日の間に、 北鐵を満洲國に襲渡し、賈却 によつて得る資金を以て、米 同合官ブルツヘル將軍は、北 司令官ブルツヘル將軍は、北 出來得る限り短時日の間に、ア政府中央執行委員會では、「大人」を持載に據れば、モスノ達した情報に據れば、モスノ **踏するものではないとの强硬 ぬ合は、獅子乙と拮抗する態態に出た場っ**

吉林の羅逍を物語つてゐる | 古林の羅逍を物語つてゐる

ソ聯極東軍の態度頗る强硬

吉林の

料亭

眉されてゐる

外客誘致に

りで闘率の途についた サー日午前十一時安東愛のが リで闘率の途についた

本 関連式 関連式

れスキー客の來朝するもの年 春妙高山麓をはじめ各地に調東洋在住の外國人から注目さ 豊中であるが、観光局では來日本のスキー場が支那その他 鑑み國際スキー場の完備を計【東京國通】國際観光局では 々多きを加へつゝある質情に

観光局の新計畫

極東軍の作職機断を編東方面 に於て喪失することになる、 由つて極東軍部は右政府案に 権力反對するものであるとの 意を中央政府に意志表示する と同時は、駐日大使ユレニエ っ氏に個惕的通電を發した、

一二分裂アジアで新京に向つた 「奉天國通」休暇を利用して 来奉中だつた北鏡唇辨孕紹庚 を発送け一日午後一時五十 に表妻は十一日午後一時五十

闘西風水害に 一千圓義捐

三、東亜の政治的、經濟的 は差 の三つである、而してこれは の三つである、而してこれは 政治經濟上から言つても當然 は差 富りないと思ふ がは と思ふ がは と思ふ が に 表 の 職 が 日 雪の 雨 戦役は これが 島 か に 着 き 却 さ れ か 信 め に 着 き 却 さ れ か 信 め に 着 き 却 さ れ か 信 め に 着 き 却 さ れ か 信 め に 着 き か あ つ た 、日 の 声 、 日 雪の 雨 戦役は これ が 信 か に 着 さ れ か 信 め に 着 き 却 さ れ か 信 め に 着 き か あ つ た 、日 い か に 着 い か に か ら に れ か 信 め に 着 さ れ か 信 め に 起 っ か に 表 す も の か き も の こ っ で あ る で あ い か ら に れ か 信 め に 起 っ か に 表 す 動 の 如 き も の こ っ で あ ら に れ か 信 め に 起 っ か に 表 す 動 の 加 き も の こ っ で あ ら に れ か 信 め に 起 っ か に 表 す も の こ っ で あ ら に れ か 信 め に 起 っ か に あ っ に か ら に れ か 信 め に 起 っ い か ら に れ か 信 め に 起 っ い か ら に れ か 信 め い か ら に れ か 信 め い か ら に れ か 信 め に 起 っ い か ら に れ か 信 め に 起 っ い か ら に れ か 信 め に 起 っ い か ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に も い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に も い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 め に も い ら に れ か 信 め に も い ら に れ か 信 め に 起 っ い ら に れ か 信 か に も い ら に れ か 信 か に も い ら に も い ら に も い ら に れ か 信 か に も い ら に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か 信 か に れ か に れ か に れ か に れ か 信 か に れ か

大に國策の支持に就いて説明 き要性ない。 大に國策の支持に就いて説明 き要性ない。 大は最後の目的であつて、一足 である、勿論かくの如き大理想 のは最後の目的であつて、一足 である。 大型何に正しき理想高き理想 の たまれば如何に正しき理想高き理想 の たれば如何に正しき理想高き理想 の たまれば の たままり かけんば如何に正しき現想 の たままり かけんば如何に正しき現想 の たままり かけんばかん といい たままり かけんぱかん しょう はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう はんしょう しょう はんしゅう しょう はんしゅう しょう はんしょう しょう はんしょう しょう はんしょう はんしょく はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょく は

具體的に言へば何んであるか 然らば我が帝國當面の國策は 策である

は日本帝國の使命管現の貿め は日本帝國の使命管現の貿め は日本帝國の使命管現の貿め な、これが我が帝國富面の國

民生活ご

海軍大將

全議の回々教徒から集められた 大陽四風水零装捐金一千圓を 株へて満洲イスラン協會長丁一青、間會長張仲三、理事長 韓集齋、常務理事唐易廛の四 氏は十日駐鞴大使館を訪問、 には十日駐鞴大使館を訪問、 皆様の を完成する事が 出來ました、何しろ本多は 例年より暖かであつた爲め 渡河に最も苦心しました、 出發の日率天を離れて間も なて渾河で四輛車が河中に なて渾河で四輛車が河中に なて運河で四輛車が河中に

ではそれ以

と質問したのに對し、ヘル國 次のシーズンには早くも管現り、大のシーズンには早くも管現を招致して意見を交換し本年末迄に計選案を決定

と答へた に乗出す意園はない し今直ちに國際通貨安屋左様な話は聞いて居る、 國際通貨安定策 目下第一候補に上つてゐるの

は妙高山麓であるが選ばれたは妙高山麓であるが選ばれたは妙高山麓であるが選ばれたは野の職には日本最初の総合的ウインタースポーツの大殿堂としてスキーの中心地となるわけでゐる

吉林朝

一千圓承德忠鄙塔建設基金 竹風 增國神社

昨年九月七日滿支間非武裝型事件即ち支那兵のため宮越奥 三郎氏が惨殺された事件は未 だ耳新しいものであるが當時 支那側より支拂はれた一萬圓 の賠償金の中より同氏遺族は

一萬圓中の半額を 二千五百圓 可附 宮越氏遺族

無番目的地に達しまし

六十二名凱旋

【大連関通』沿線各地の衛戍 病院で振楽中であつた傷柄兵 れのシャトル丸で羽田大尉引 率の下に認んな銃後の際に送 られて凱旋した

旭川招魂社 ではとても雉が多く即載

東拓ピ中 金融競爭展開 銀が

をつかつて薬を貰ひに來るは萬一の際を考へてか假病

松本醫院

(及 院 □ 一代診生並に看護婦入用●

日本橋通郵便局前

たのが今回は内科系統の でうになりました、從來の は特徴には殆ど外科が多か はまで施療を受けに來る

性內

痔疾科

ロイン中毒

科 病

小兒科

アヘン、モヒ

吉林商埠地の建設に **一般である。** 一般である
一般で

大吉林の膨脹のため新しく開 療擔保の資金貸出しは多年の 産擔保の資金貸出しは多年の 産擔保の資金貸出しは多年の 無折の吉林進出により實現さ れ大吉林の建設に拍車をかけ た形であるが、更に今回中央 しを行ふ事に決定した模様で あり、大吉林の建設をめぐつ て東拓、中銀の金融電争の形 【吉林國通】吉林省公署に於ては近く管下十七縣の参事官 會議を召集することになり目 下準備中であるが、期日は二 吉林省公署 參事官會議

治維會議 通ビント図 田

一日市内僧行社に於て開催された濱江地區治安維持會議には濱江省内十七縣の参事官も 列席し夫々各地方の治安狀況 を報告し種々協議の結果引續 を報告し種々協議の結果引續

部長に昇進、月給五十圓、特 が持覧美氏は生前の功績によ が特覧美氏は生前の功績によ が表に昇進、月給五十圓、特 九十九錢、給與功勞加當五百圓、弔祭料百四 **營備死場手當千二百圓**

一千二百餘丰 みごご走破 D

雪焼けの頰に苦心を語る 自動車隊

給四級俸

費鴻犀

の通過する前日出たといふ の崩過する前日出たといふ の通過する前日出たといふ 級俸 任權度局技士委任二等級十四 大塚悌一郎 國都建設局技士

轉任新京特別市公螺技佐贫膘特任新京特別市公螺技佐贫膘特任新京特別市公螺技佐贫膘 使大 邮票票部据官 原安太 邮票票部据官 原安太 邮票票部据官 小方新八郎

宋嗣查局屬官敍委 故土 坂內九十六

1 勇 高麗官 芦田安吉 阿男 高麗官 芦田安吉 二等(各通)

NITTOH 東紅茶 社會式標準物件三 元賣留

を含んで交々左の如く語るを含んで交々左の如く語る

特任臨時董学開查局縣官敘委 增聚部屬官 岩 觀 孝

士

話

二五一四四十五

信機關の増設に依て地方各機 関の連絡を関り各縣の警察自 徹底的に禍根を一掃する事に なつた、尙爾樑の會議が來る

村崎巡查 部長に昇進 施療患 考數報言は五百 大地療患者は八百六十名に達し相 恵者は八百六十名に達し相 富の成果を收め得たものと 喜んでゐます、最後に申上 けたいことは同和自動車の けんいことは同和自動車の は我が日本のたりで難行軍にも拘らず ことが日本のため頃に喜ぶ

希望者へハ信書ニテ面會日通知ス當方出資シテ共同事業ヲ望ム少ノ財産ヲ有シ健實ニシテ眞面目ノ方海洲事情ニ精通セル企業家ヲ求ム但多

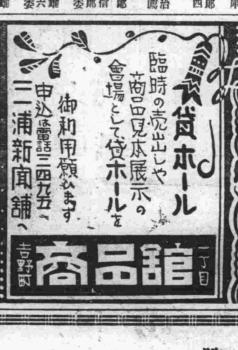
入船町三ノ三大號室

金物の御用は何ても揃ふ店 取扱品目

三笠町二丁目〈演廳館前〉心売物一式 類類物式類

百金物片

駐日本國公使館三等秘書官



其他日滿一般法律事務 端 觉 窗 標 登 錄 定 諸 契 約 作 成 沼 舊 翡翠 4品目

新京子不街走松町 電話五 一六番

¥3.00

ーロウビ。トスリウツ。シバヤジ ホトマヤ前)ルテホ際國 ビルへ海道三國外。ヤカスイタキ。ンビル

目品業營◆

車軸油 モビールグリース 油 油 油 建築用油 石 油

隆泰公司商事部 新京吉野町一丁目二番堆

敷設間場 二ヶ月分 新發屯清和街 新發屯清和街 家 三疊、四

話二二四大

東亞與業株式會社新京出張所新京特別市新發屯淸和街第一〇一號 金備取所 家 七十七圓前家

、水洗式便所

老話なとれる者

骨骨 ▼寶 ます何卒店内御一覧下さ 童 品 石 品 破格賣出

贈物、內 地土產 経好のチ 最適品 t ンス逸する勿れ!!

北京華北天骨董ヒスイ商店 價に て買 入▲ 支 店

東五條通の三番地

民政部へ申請

△尋五○忠孝仁義禮

でルリン潜在中の友枝数 でルリン潜在中の友枝数 でルリン潜在中の友枝数 工月頃ベルリンに於て滿 新國展覽會を開催する事 となつた、満洲國外変都

を 下出品準備中であるが活 対等を設附、満洲國の健 会なる設達振りを紹介す

はどんなものかといふと 寛城子 附近に居る満人 寛は勿論、病牛、聞いても身 なんでもおかまいなしに搾り なんでもおかまいなしに搾り なが要いから事情を破って なが要いから事情を知って なが要いから事情を知って なが要いから事情を知って なが要いから事情を知って なが要いから事情を知って なが要いから事情を知って ながいまいなしに搾り

で賣る値で

石あまり ひの量が 数場が禁

今う

まく

て高

味

覺

0

陶醉

境◇

吉野町一丁目十一番地 板 板

滿洲國展覽會開催

それが 原因で一切を任 その牧場の滅人屋人が取調べ られた結果、不正乳 水の混 りれた結果、不正乳 水の混 りれた結果、不正乳 水の混 果に角合帳なしで得意先に牛 乳を配達してゐる譯でもある まいしその量と飼養牛の搾取

三等 後廢繁、尾崎惠美子、三等 後廢繁、尾崎惠美子、中島寬・

等等

田島義行、小橋進、公木村澄子、早川和子

谷

入船町三丁目十九番地

廳

照星

西廣場小學校

との争ひ

な場の牛乳に混ぜられた水の 中民が買つて飲んでゐたその。 中民が買つて飲んでゐたその。 の牛乳に混ぜられた水の。 はいであらう。この一合七錢で、混

を神られない をやられない をやられない をからには といると をがむ人も をいのであるから、彼等のな 関本のであるから、彼等のな で安くも で安くも

街で拾つた話の牧場主と雇人恐ろしい病牛の乳も混つてる

△尋四(道者天地大

△ 隷三(はつ日の光) 一等(大西組) 中央通り三十六番地/ニ 長島 貞子

三等 福升崇、間普行雄、高

城內西五馬路

所謂不正乳さは

ケン粉袋に

に入れて肩にし費り
一供が少しづユメリ

れは日本人の牧場を保護する 脳地へ費つては悪いのか、こ のを消人や管西亜人はなぜ附

に來たもの

で顔色を窺ひなが

ごんなもの

△高一(皇威輝四海)

三等 山內數子、四野春軍三等 岩卉一男、岩部久芳、百々良子

(8

秦輯私員 專賣公 書では表彰内中 まる八 日頭賊の為め貫涌銃創を負ひっ、天野輯私員を背負ひ急を つ、天野輯私員を背負ひ急を では まる八

本社主催の室町、西蔵場小學 をは十二日午後二時からそれ をは十二日午後二時からそれ でれ殿正に行はれ午後四時左

四十二年 | 三等 | 内山克巳、長鳥常勝 | 二等 | 早坂五郎、及川でる子 | 本部 | 三等 | 早川美智子 | 横田良男 | 三等 | 隷山伸子、井本館子、 | 中等 (光野組) | 本高二 (山 晴春 松 後 一等 (光野組) | 本高二 (山 晴春 松 後 一等 (光野組) | 一等 (大隈組) | 本部 | 一等 (大隈組) | 本部 | 大阪組 | 一等 (大隈組) | 大阪組 | 一等 (大隈組) | 大阪組 | 一等 (大隈組) | 大阪田本館子、 | 上下敦子 | 大阪田本館子 | 大阪田本語 | 大阪田本 | 大阪田本 | 大阪田本 | 大阪田本語 | 大阪田本 | 大阪田本語 | 大阪田本 | 大

昨年三月全部同收を終り十一、該地方に散在せる銃器は、後雪旗せることなし代等質旗せることなし

官者ら では割れんばかりの盛况であつ か、午前九時入場式、久保田 の意見の閉會の辞、可 であっ

時入場式、久保田時入場式、久保田

日満中継)(東京より)(東京より)(東京より)

unt

に於て東邊道救費會議を開催各縣代表を召集して各省公署

一四八八

助車の一齊檢査を行つた

より満洲國に對し十二月二日十二月十六日在黒河ソ聯領事

には私有銃器を所持するも引揚を行ひしにより各部落月には更に騷魔銃器の捜査

二酸射撃を受け、又同月四日かる赤軍歩哨が満洲國側より於る赤軍歩哨が満洲國側よりかるホステン・プラゴエスチエ

の事情で明白であるが、最い事情で明白であるが、最い事情無視なるは以上抗議が事情無視なるは以上

二十一、二兩日に亘り東邊道 請折衝を震ねてゐるが、來る

日人乘降者數

新京署の 新京署の 非常召集では十二日午後三時から同五時まで は十二日午後三時から同五時まで は十二日午後三時から同五時まで

れが急速なる撤廢を要望し

じ轉送方を依頼、十二日大使 西風水售齢捐金三十三圓三十 五錢を醵金、敦化領事館を通

風水害へ議捐

計十十十九八七六五四三二二月月月月二月月月月月月月月月月月月月月月月月

全滿氷上大會

イスホッケー

新京軍撫順に勝つ

(二〇對二で大連滿鐵勝つ)

西廣場一兩校の揮毫

(十二對七で新京勝つ)

審查愈々終了

地につき調査の結果次の如くれる件に關し満洲國常局は現の場所を受けたりと抗議し來監視哨が再び満洲國常局は現

全滿水上

十二點の優秀作品に對して

本社メタル贈呈

ツ 静側の言ふ射撃事件の

國 都 5 流鐵社會係りの下調査終る ルの設置計 3 は)

あり且又一般から要認され 慰安上から観て是非必要で 製を上から観て是非必要で て到々實現をみなかつたが事を交渉したが都合によつ昨春温プールの復活補修工

消費組合設立反對

新京日滿商店大會

ならぬ緊張を孕ん

ふ公會堂

日午前中野村主事。樋口保工・人関都新京のプールに相脳・人関都新京のプールに相脳・ ボタンド、 植込み等あらゆ に 神算を計上して本社に申 なした上附帶施設費とゝも地借用その他につき協議を地借用その他につき協議を

園西方凹地に赴き詳細調査 △蓼二(まったけ) 一等 小林ト/子 二等 山口正枝 三等 森口潔 片岡康長

時

十五日(建)

十六日金十七日金

割

割引券は夕刊三面

機

會

京

念公會

堂

種員の節はお断はり致します

△尋三(文行忠信) 四三二一等等等 (經) △尋四(道者天地大 小地應 海田春子 森飯 夫 **北房高子**

1 股 金五十錢 金五十錢 金五十錢

催新京日日新聞社

見落

物はいづ に陳列さ

名となるこれ等出品 されて十四日〈月曜 されて十四日〈月曜

(撫順)四八秒七5 安連(奉 宿(安東)四八秒二3木 宿堂(奉天)四八秒二3木

新大の午後(東京より) 新人の午後(東京より) 新人の午後(東京より)

…三巨大篇オー

△尋五(忠孝吾家之 實 六名、西廣場小學校六名都 東される見童は室町小學校 本社贈呈の記念メタルを授 本社贈呈の記念メタルを授

二等 山木和二等 佐藤富美三等 佐藤富美 氣陽

に批判を加へあくまでこれが に批判を加へあくまでこれが に批判を加へあくまでこれが に批判を加へあくまでこれが でであるので會場はたいなら ね空気に満たされるものと強 想されてある

一等 加藤澄子 二等 加藤澄子 三等 武藤榮一 三等 武藤榮一 三等 武藤榮一 上たギけみな非常な良い出したギけみな非常な良い出した

濟策を樹立可及的速に救済に地方の實情に適する具体的救

着手する事となっ

た 式は十一日市内西本願寺に於古 を遂げた若山〇國の池田少佐 以下六勇士のしめやかな告別

若山〇 名譽の

天)四八秒七6 平田(率天)四九秒八8 鋤本(率天)四九秒10 木秒八8 鋤本(率天)四九秒0 木分 (安東) 五〇秒10 木份(安東) 五〇秒10 木份(安東) 五〇秒二11 橋本谷(安東) 五〇秒二11 橋本谷(安東) 五〇秒二11 橋本谷(安東) 五〇秒二11 橋本谷(安東) 五〇秒二11 橋本

○、二〇 ・ 四〇 常磐津 ○、四〇 常磐津 ・ 明原) ・ 神澤作

はる

柳澤恒吉

池田少佐以下の告別式擧行 悲しき凱旋の途についた 二日午前九時廿五分酸列車で では、 おいた。

(新京) 五〇秒二

五九秒二5江島(奉天)五五秒九2榮襴(奉天)五六秒一3岩田(撫殿)五八秒二(以上日本滿殿)五八秒二(以上日本滿

不法射撃の抗議を

逆にもち込む

十三日(日曜) 新京 中前の部 八、三〇 子供の時間 八、三〇 子供の時間 八、三〇 子供の時間 八、四〇 講演(東京より) 元、四〇 講演(東京より)

調査の結果ソ聯側の感違ひ

Q 東大教授 今升登志喜 (本語) (本天より) 本天市立第十一小學校男 女生徒 唱 歌 * 00

六、三〇 國民の時間

外梅

現 仇討(三人上 一 後太夫

彼等がすべての點で市場に出 なくらひにしか考へて居らず も昔と違つて、

四、二五 氣象通報 完合 二五 氣象通報 番組業告(日語) (東京より)







貨電話も致します 金融月賦販賣 電話賣買

部

商品擔保貸付 金融 (倉庫完備)

日掛中教》

今回別間デ碁席ラ

開井

カラ教授シ

7 スマ

歡 迎 電三〇六〇番

ゴトウ 煎茶道並心禮法教授

教授時間

自一時至一時至十二時

新京浪速町二丁目二番地(公學校南側) 特職掛替、再見快、並に花活拜見快等其他本院二 が御希望の方は直接御來駕御相談顯上げます 近御希望の方は直接御來駕御相談顯上げます 盃の受け方、差し方給仕の仕方 盃の受け方、差し方給仕の仕方

お待ち兼ねの…… 味のよい テモ

東京明總館主

壹岐南洲山人

新京 飛行 場 南端(電話二〇八八番) 新京 飛行 場 南端(電話二〇八八番) 一、小 傳(正味四貫八) 一樽金二圓五十鏡

德 ◇滿 実質本位う 員 京 有 か 人前二円五十美より六円までいろいろ 若い女中さんが朗うかなサービスいたします 御 禮 會席 季節料理 スキ焼 鍋もの ふぐ料理 駒ケリ 申 上 候令

溫

設備も出來上り茶。

日開浴時間 至自 後前

新京鑛泉蒸氣浴所 北端線代

泉浴ヲ必要ト-株龍至にステームの、数

ワキガ、寝小便、感冒、氣管支炎、肥滿症、其ノ他溫便化症、關節炎、喘息、マラリヤ、消化不良、不感症人病、皮膚病、痔疾、不眠症、月經不順 中風、動脈

適 → 人病、皮膚病、痔疾、不眠症、月經不順 中風、動脈でせう一人毎に特許寝台附ですでせう一人毎に特許寝台附ですが最近十數年來の神經痛、慢性胃腸病、婦人病、其の他難病がどしく全快致して居ります。 かん 一大毎に特許寝台附です

道

百ぜた

春

 ∇ 滿嶽支那重要都市にあり 全國各樂店 並に

十八日日日日日日日 分分分分分分分分 +++ 同同同鏡鏡鏡

後替東京九一香 (67) { 8 % d a

本 舖

for The Cough and Asthma 龍角散

RIUKAKU-SAN

Good Medicine

(H

(電影)/ぜんそくにてゼイゼイ息切する人(電影)/世を頻に出て夜中オチオチ眼策る人(電影)/肺病にて常に力なきせきの出る人(電影)/肺病にて常に力なきせきの出る人(電影)/肺病にて常に力なきせきの出る人(電影)/音聲のかれびは咽喉の痛せん(電影)/音聲のかれびは咽喉の痛せん(でき)/音響のかれびはしかせきの小見る人(でき)/音響のかれびはしかせきの小見る人(でき)/音響のかれびはしかせきの小見る人 の適應容態書



「入院隨意」

電話五七〇九番

院長

携帯薬として又盛んなる需要 角散は家庭常備薬としてのみな らず温泉、スキー場等の旅行 を極めて居ります。殊に近頃龍 を顯はしますので益々賣行激甚 難遊の喘息にも大ゐなる効果 をお聴下さいましたか。永年 的に治療の出來る龍角散の評判 心地よく、脚・咽喉・セ とする香を柔味の中に徹底

外交員入用

科

小兒科

今こそ治療季

IJ

松糀 製造 電話六六三一番 所



各種材料部 灣 製 造 部 ◎御一報次第見積に参上可仕候◎ 公益商會支店

第六込申子册小(話の髓骨)

僕虚 リ衰不衰不腺不化

一 入錠十八百 錢十五圓四 入戶 千

(量日十三)

程 室 日 本 間 本 間

フランス

ボホテ

つい

た御座敷

族的て

高 尚 な……

道



病性症狀で

のはらだ豆す 学タミンDは僅に〇・〇〇〇一能に大量を取ることは却て新陳代謝に大量を取ることは却て新陳代謝に大量を取ることは却て新陳代謝に大量を取ることは却て新陳代謝に大量を取ることは却て新陳代謝にとから上の皮膚を日光に場合に作用する性であることになります。 「はピタミンDの母体であることは却て新陳代謝では一年中で一番紫外線の後間を日光に場合という。 「はピタミンDの母体である」とは却である。 「はピタミンDの母体である」とはおいる。 「はピタミンDの母体である」とはおいる。 「は、アートーで、「は、アートーで、「は、アートー」と云る物質を含んでは、アートーで、「は、アートー」という。 「は、アートー」という。 「は、アートー」といる。 「は、アートー」という。 經濟で安全な

寒さ

此ま要さ

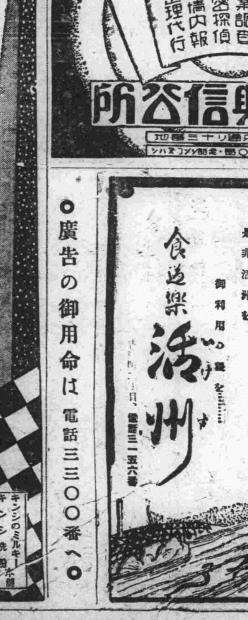
本

店商吉友澤藤 河門小西府城京 町本橋本日京東 町修道區東阪門

入器容付アツリク

(にメ止レア) 花名の洋東 お肌の を若く健かやに W 艶麗な美しさを増する のまでに 雪の如く肌に溶けの 代理店 新 安 東

富展洋行支店







計温体の円化



回本

NB-125